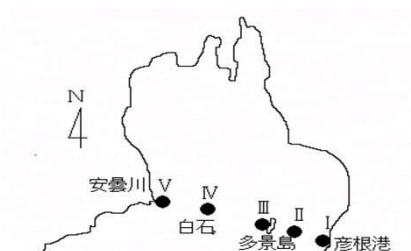


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和8年8月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご留意下さい。

調査年月日 令和8年8月17日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場池先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 … 5地点の平均値

平年値 … 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

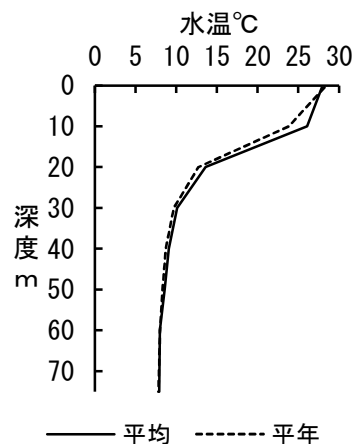
DO(溶存酸素濃度)は2016年～2025年(平成28年～令和7年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 8月平均値 5.5m 平年値 6.5m

2. 湖水温 (°C)

深度 (m)	8月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	27.9	28.2	-0.3
10	26.1	23.8	+2.3
20	13.6	12.7	+0.9
30	10.1	9.7	+0.4
40	9.1	8.7	+0.4
50	8.6	8.3	+0.3
60	8.0	8.0	+0.0
75※	7.9	7.8	+0.1

※7月平均値75mの値は74mの数値



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
7月下旬	29.9	26.5	+3.4
8月上旬	29.8	27.8	+2.0
8月中旬	28.2	27.8	+0.4

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	8月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	10.8	12.0	-1.2
10~20	2.6	5.4	-2.8
20~40	0.8	1.3	-0.5
40~75	0.2	0.6	-0.4

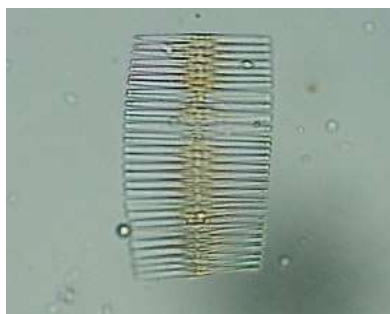
(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点)

植物プランクトンについては、両地点とも*Fragilaria crotonensis*(オビケイソウ:珪藻)の細胞数が最も多かった。

動物プランクトンについては、地点Vでカイアシ類のノープリウス期幼生、地点V以外の全地点でカイアシ類のコペポデイド期幼生の個体数が最も多かった。



Fragilaria crotonensis



ノープリウス期幼生



コペポデイド期幼生

6. DO (溶存酸素濃度 : mg/L) 多項目水質計による測定値

深度 (m)	8月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	8.1	103.1	7.9	102.6	0.2	(+0.5)
10	6.9	85.0	8.1	98.4	-1.2	(-13.4)
20	7.5	72.0	7.7	73.2	-0.2	(-1.2)
30	9.0	80.3	8.9	79.1	0.1	(+1.2)
75※	5.4	45.9	5.0	43.8	0.4	(+2.1)

※7月平均値の75mの値は74mの数値